

マンションもネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの時代へ 名古屋で全国初のZEH分譲マンション

積水ハウスは名古屋市でネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(以下、ZEH)の高級分譲マンションを実現します。住宅街として人気の千種区内で、3階建て12戸規模の邸宅型マンションにおいて、2017年夏に着工し、2019年春に完成の予定です。

パリ協定の発効を受けて我が国のCO2削減も加速が求められる中、家庭部門では2030年までに39%もの削減が目標となっています。その達成のためには、先行している戸建住宅でのZEHの推進に続き、戸数規模の大きい分譲マンションでのZEH化が期待されています。しかしながら、省エネ面では建物の断熱や省エネ設備性能をトップレベルにすることは可能でも、創エネ面では戸数に対して相対的に屋根面積の小さいマンションでは十分な太陽光発電システムの搭載が難しく、エネルギー差し引きゼロのZEH基準の達成が難しいとされてきました。

国が2020年にハウスメーカー等の新築住宅の過半数をZEH化することを掲げる中、積水ハウスでは新築戸建のZEHは既に7割を超えるまで普及させています。さらに2020年には8割を目指し自主宣言するなど、業界の取り組みをリードしてきました。一方、集合住宅はZEH化が困難等との理由から国の目標の対象外となっていますが、住宅着工戸数の約半数を占め、住宅のCO2排出量の約3割を排出している集合住宅においても、いずれはZEH化の動きが求められます。当社は時代を先取りし、いち早くこれに取り組み始めます。

積水ハウスの分譲マンション「グランドメゾン」は、単なる建物としての「集合住宅」ではなく、住まい手一人ひとりのライフスタイルを重視し、住まいが集まったかたちである「住宅集合」という考え方を基本としています。また、地域の生態系再生を目指す、積水ハウスの「5本の樹」計画に基づいた緑豊かな植栽帯を配し、年月を経るごとに魅力的な住まいとなる「経年美化」を象徴する住環境づくりとして、外構には自然石による石積みを施し、住まいのみならず周辺環境との調和にも寄与します。

本計画では、都心に近い利便性や居住環境に優れた住宅街に「グランドメゾン」の基本思想に加え、国内で初めてZEH基準を達成する快適性を備えた環境配慮型の分譲マンションを目指しています。

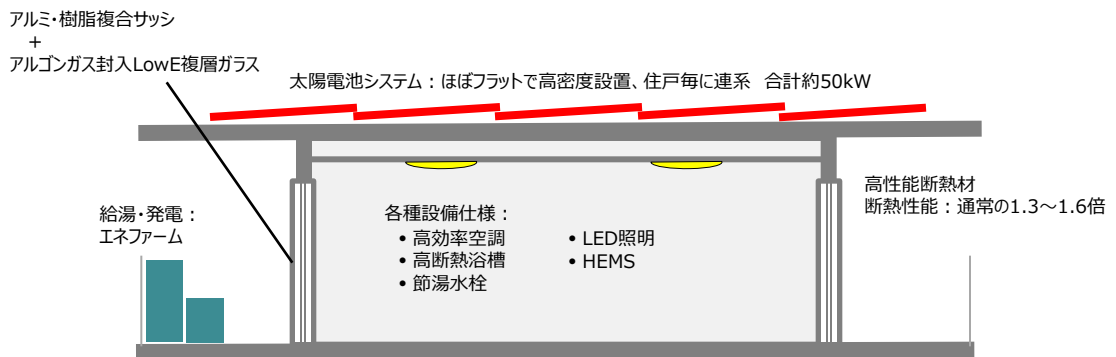
本物件計画での仕様について、「省エネ」としては、LED照明等の各種省エネ設備を採用し、また窓のアルミ・樹脂複合サッシにアルゴンガス封入複層ガラスの採用等によって開口部の断熱性能を従来比2倍に高め、住戸単位の断熱性能を1.3倍～1.6倍まで高めます。「創エネ」では全住戸において、平均4kWの太陽光発電システムと、燃料電池「エネファーム」を搭載します。これにより、全住戸でネット・ゼロ・エネルギーを達成します※。さらに停電時には太陽光発電システムとエネファームの停電時発電機能(発電継続)による電力供給や、共用部に備える防災備蓄倉庫などの防災対策、エレベーターのフロア制御などの防災対策により、安全・安心にも配慮した住まいとする計画です。

※「ZEHロードマップ検討委員会とりまとめ」(平成27年12月 経済産業省資源エネルギー庁)の「ZEH」の全要件を満たします。

当社はこれまで、業界を牽引する取り組みを環境大臣に約束する「エコ・ファースト企業」として、「グリーンファースト」ブランドで戸建や賃貸住宅での環境対策を推進してきました。高級分譲マンションの「グランドメゾン」ブランドでも、今後可能な物件のZEH化をはじめ、環境対策のレベルアップを推進してまいります。



完成予想図



ZEH仕様要素構成のイメージ